

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第42週 (ARIのみ第41週) の発生動向

□ トピックス

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症)

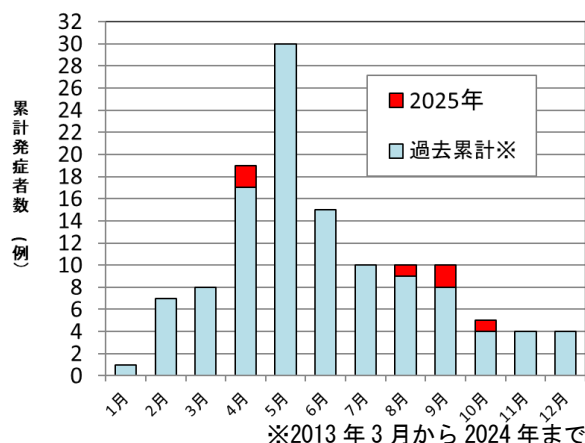
延岡保健所管内から報告があった。患者は70歳代の男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計123例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
1	1	2	5

60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
27	47	33	7

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



□ 全数報告の感染症 (42週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核1例。
- 3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例。
- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒3例、百日咳2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	80歳代	男	肺結核	呼吸困難
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	70歳代	男	—	発熱、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、その他
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	100歳代	男	—	発熱、咳、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	晩期顕症梅毒	梅毒性バラ疹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	眼症状
	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳
		高鍋	0～4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・第42週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は389人(定点当たり22.6)で、前週比82%と減少した。

なお、前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

また、第41週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,266人(定点当たり45.2)で、前週比93%と減少した。

【インフルエンザ】

報告数は68人(2.4)で、前週比76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.3)の約9.0倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

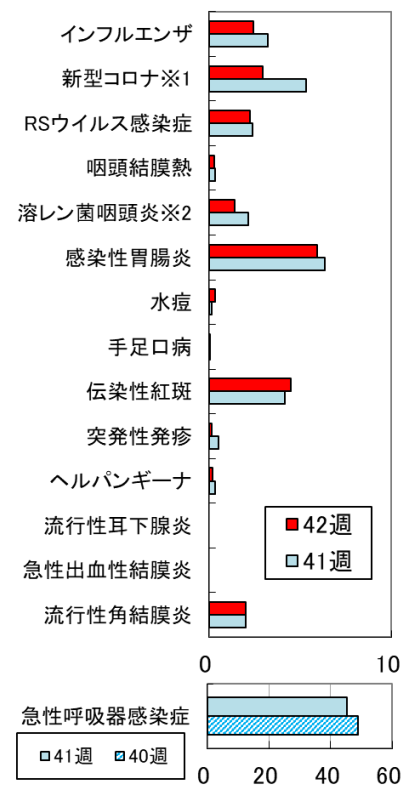
報告数は82人(2.9)で、前週比55%と減少した。年齢群別は20歳未満が全体の約半数、60歳以上が全体の約2割を占めた。

【伝染性紅斑】

報告数は67人(4.5)で、前週比108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約8.9倍であった。年齢群別は4歳から7歳が全体の約6割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

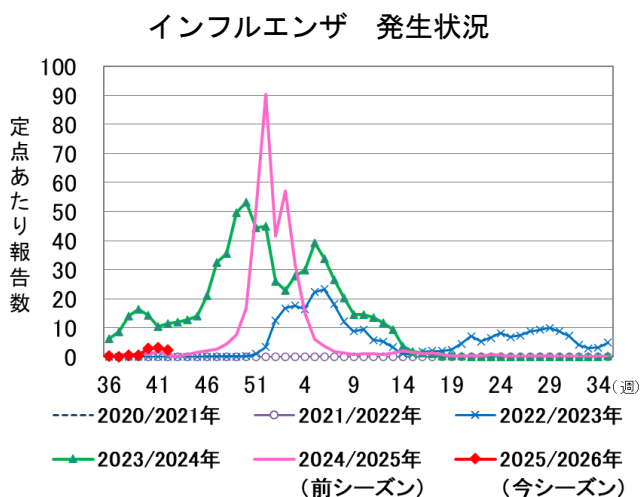
《前週との比較》



定点あたり報告数

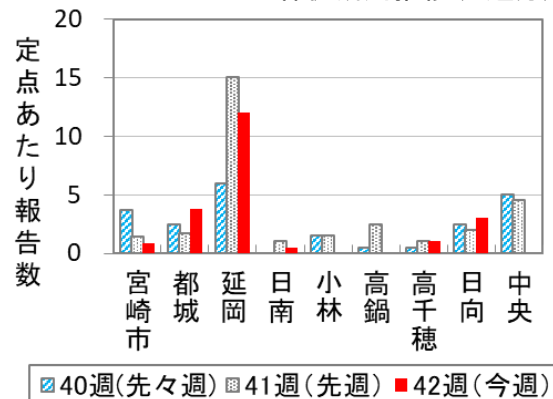
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

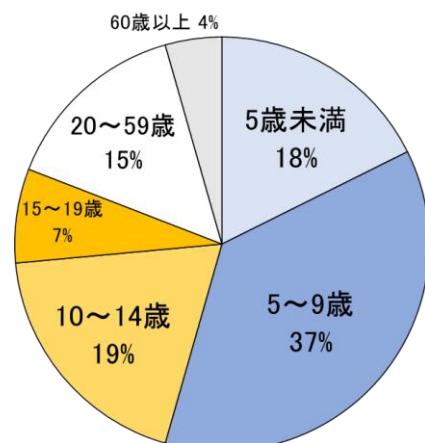


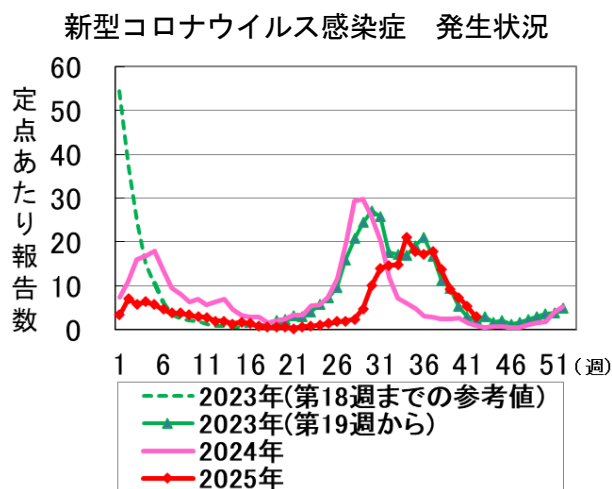
※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



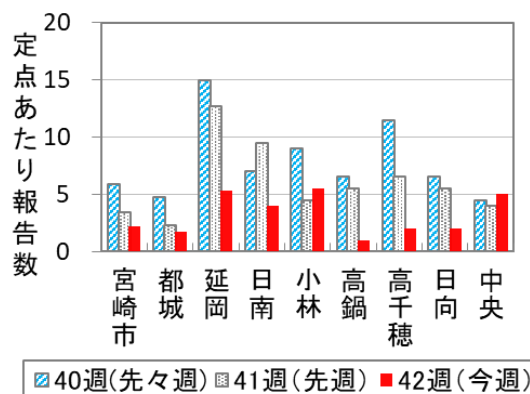
インフルエンザ年齢群別グラフ(第42週)



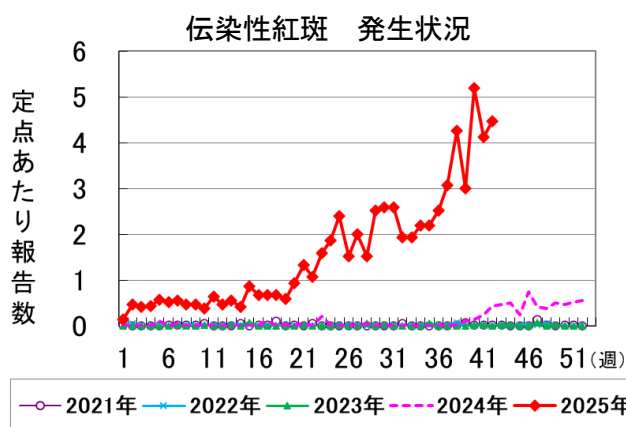
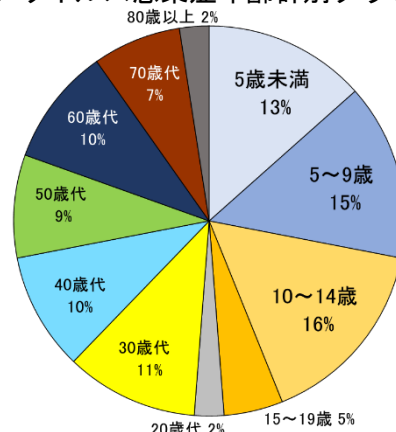


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更
 ※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

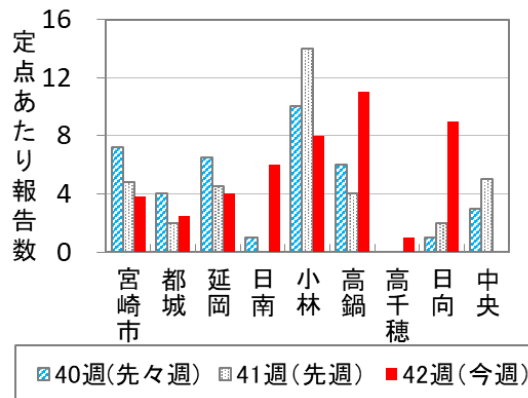


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第42週)



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、延岡保健所から報告があった。年齢は0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(3.8)
都城	伝染性紅斑(2.5)
延岡	インフルエンザ(12.0)、伝染性紅斑(4.0)
日南	伝染性紅斑(6.0)
小林	伝染性紅斑(8.0)
高鍋	水痘(1.0)、伝染性紅斑(11.0)
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(20.0)、水痘(1.0) 伝染性紅斑(9.0)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・伝染性紅斑(2)
- ・感染性胃腸炎(20)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

（2025 年第 41 週：10 月 6 日～10 月 12 日搬入分）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		1
パラインフルエンザウイルス	1型		1
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			4
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			8
受付検体数			15

○ 急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

🇯🇵 全国 2025 年第 41 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	221 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	73 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	5 例
	日本紅斑熱	24 例	日本脳炎	1 例	レジオネラ症	60 例
	レプトスピラ症	6 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	18 例	急性脳炎	4 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	8 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例
	水痘（入院例）	3 例	梅毒	165 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	944 例
	麻しん	2 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びマイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 102%とほぼ横ばいであった。

インフルエンザの報告数は 9,074 人（2.4）で前週比 151%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（0.3）の約 7.5 倍であった。沖縄県（14.4）、東京都（4.8）、神奈川県（4.2）、千葉県（4.2）からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 2,928 人（1.3）で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*（0.3）の約 4.1 倍であった。佐賀県（5.9）、宮崎県（4.1）、愛媛県（3.9）からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間（2015－2019）の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	90	68	8	15	36	1			2	6	
	定点当り	3.21	2.43	0.89	3.75	12.00	0.50	0.00	0.00	1.00	3.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	149	82	20	7	16	8	11	2	4	4	10
	定点当り	5.32	2.93	2.22	1.75	5.33	4.00	5.50	1.00	2.00	2.00	5.00
RSウイルス感染症	報告数	36	34	15	9	2	1	3			1	3
	定点当り	2.40	2.27	3.00	4.50	1.00	1.00	3.00	0.00	0.00	1.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	5	4	3	1							
	定点当り	0.33	0.27	0.60	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	32	21	7	5	5		2	1		1	
	定点当り	2.13	1.40	1.40	2.50	2.50	0.00	2.00	1.00	0.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	95	89	10	20	8	12	9	1		20	9
	定点当り	6.33	5.93	2.00	10.00	4.00	12.00	9.00	1.00	0.00	20.00	9.00
水痘	報告数	2	5	3					1		1	
	定点当り	0.13	0.33	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.07	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	62	67	19	5	8	6	8	11	1	9	
	定点当り	4.13	4.47	3.80	2.50	4.00	6.00	8.00	11.00	1.00	9.00	0.00
突発性発しん	報告数	8	2	1								1
	定点当り	0.53	0.13	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	3	2				1				
	定点当り	0.33	0.20	0.40	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	12	6	4	2						
	定点当り	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	4										
	定点当り	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第41週(10月06日～10月12日)

		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1368	1266	381	102	205	107	99	72	74	133	93
	定点当り	48.86	45.21	42.33	25.50	68.33	53.50	49.50	36.00	37.00	66.50	46.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～42週 保健所受理分)

2類感染症	結核	108例(1)		
	腸管出血性大腸菌感染症	26例		
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例
	レジオネラ症	6例	重症熱性血小板減少症候群	6例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	20例(1)
	梅毒	107例(3)	播種性クリプトコックス症	1例
	百日咳	1,376例(2)	破傷風	3例

()内は今週届出分、再掲